

# 未来への決断！私たちの選択。



池田博穂 監督作品

脚本：ジェームス三木

## 波打たばこ よなら原発

企画・製作／小室皓充

プロデューサー／佐々木裕一

撮影／野間健

撮影補／岩崎登

照明／松井博

音響／藤本賀一

整音／本田政

高架／小林洋平

音楽／口子一／安田裕司

美術監修／丸尾知行

美術／中川理仁

装飾／藤田徹

ヘアメイク／金森恵

衣装／栗原洋平

スクリプター／赤澤瑛

助監督／加藤文明

アンシエット／プロデューサー／

ライティング／ユーリー／大庭盛雄

キャスティング／ロディー／桑山和之

ラインプロデューサー／北川義治

（有）マディーズ

製作／日本の青空会

製作委員会

赤塚真人

高林由紀子

中原果南

渡辺梓

松山愛佳

反田孝幸

小林さやか

藤本喜久子

山下規介

鈴木正幸

小林尚臣

山下洵一郎

ケーシー高峰

苅谷俊介  
宍戸開

## 【あらすじ】

1969年春、過疎化の進む巻町（新潟県）に異変が起きた。出稼ぎ大工と行商で細々と食いつないできた角海浜地区の地価が、なぜか値上がりはじめたのだ。

老舗割烹旅館「珊瑚屋」を経営していく情報源に事欠かない五十嵐家に、どこかの企業が角海浜にレジーランドを開発するらしいという朗報が舞い

## 原発の是非をめぐつて 四半世紀にわたる巻町民のたたかい 波乱に満ちたドラマの映画化

3・11東日本大震災・原発事故により原発の安全神話は崩れ去り、国の原発依存に対する国民の怒りと不安は、原発NO！のたたかいとなつて各地に広がっています。

本作は、新潟巻町（現・新潟市西蒲区）で原発建設を阻止した実話をベースに映画化、原発の是非を問いかけています。

今作は、時宜にかなつたテーマの映画づくりにこだわる「日本の青空」シリーズの三作目。脚本はジェームス三木が書き下ろし、監督は、社会派のドキュメンタリー映画を多数手がけた池田博穂が、今回初めて劇映画に挑みます。



「日本の青空」「いのちの山河」につづくシリーズ3作目！

# 渡わたバト! よむら原発

池田博穂  
監督作品

脚本  
ジェームス三木

企画・製作：「日本の青空Ⅲ」製作委員会・有限会社インディーズ

住民投票で「原発NO!」を選択した巻町 略年表	
1969年 6月	「新潟日報」のスクープで町民が初めて巻原発計画を知る。
1971年 5月	東北電力が巻原発建設計画公表。
1977年 12月	機動隊に守られて巻町議会「原発建設同意」を決議。
1994年 10月	自営業者らが「巻原発・住民投票を実行する会」を結成。
1995年 2月	「実行する会」による自主管理の住民投票実施。投票率 45.4%。 原発反対 9854 票、原発賛成 474 票。
2月	臨時町議会を反対派が流会に追い込み、町有地の売却を阻止。
4月	町議選で住民投票条例制定を公約した 12 人（過半数）が当選。
12月	「実行する会」が 1 万 231 人分リコール署名提出、佐藤町長辞職。
1996年 1月	町長に「実行する会」の笹口孝明氏が当選。
3月	町議会、全国初の原発住民投票実施を可決、投票日確定。
8月	4 日住民投票実施。投票総数 2 万 503 票（投票率 88.3%） 原発反対 12478 票 (61.22%) 原発賛成 7904 票 (38.78%)
1999年 8月	笹口町長が「住民投票の結果を守るため」予定地内の町有地一部を「実行する会」の 23 名に売却。
2003年 12月	町有地売却訴訟、原告の原発推進派訴えは最高裁で棄却。これを受け東北電力は「計画断念」の声明。

2013年／日本映画／ビスタサイズ／120分 ©「日本の青空Ⅲ」製作委員会



3月20日(水・祝) 国崎市 / 天神山文化プラザ  
3月23日(土) 倉敷市 / くらしき健康福祉センター

上映 9:50 12:20 14:40  
(ひさの会場)